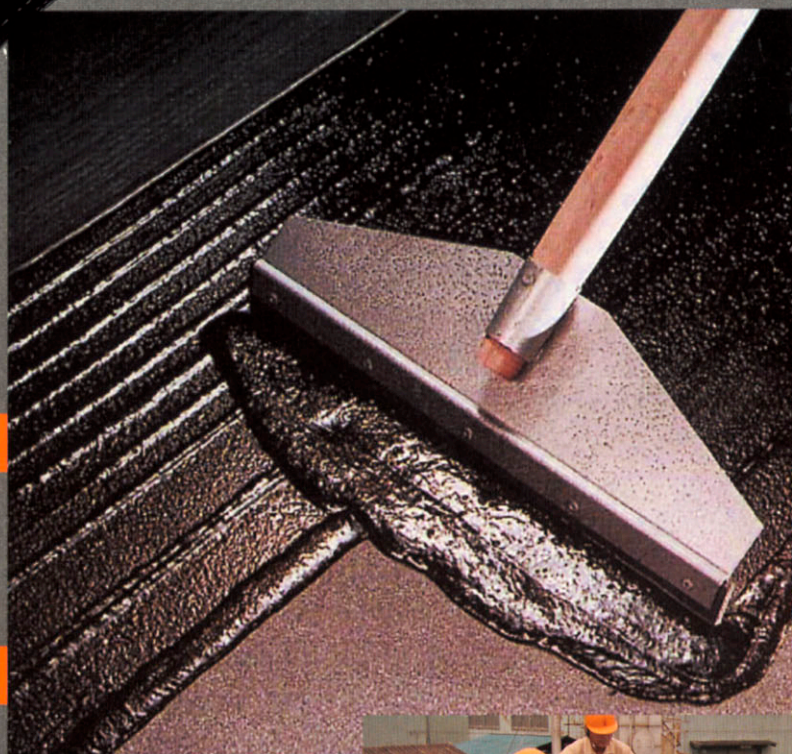


次世代型ハイブリッド常温防水システム ダービー防水システム

全国防水リフレッシュ連合会 専用品



DERBI Waterproofing System ★



全国防水リフレッシュ連合会
Japan Waterproofing
Refresh Federation



日新工業株式会社
Nisshinkogyo Co., Ltd.

ダービー防水システムとは

防水改修専用工法として、改質アスファルトルーフィングを常温型アスファルト塗材のダービーボンドSにて貼り付けるもので、長期にわたって安定した高い防水性能を有し、また、材料に起因する膨れ・シワの発生リスクを軽減することに成功した画期的なシステムです。



ダービー防水システムの特長は？

- ★ 施工スピードに優れた、作業効率の良い工法です。
- ★ 改質アスファルトルーフィングに、特殊常温型アスファルト塗材のダービーボンドSを付加することによって、防水層のボリュームアップが図れます。(=耐久性の向上)
- ★ ダービーボンドSの塗布によって、改修工事における下地処理工程を省略できるケースがあります。
- ★ 標準工法において、火気を使用しない常温システムを実現しました。
- ★ ヨーロッパ・アメリカにおいて、広く、数多くの実績があります。



Kビル／京都府



Aビル／東京都



Aビル増築棟／東京都

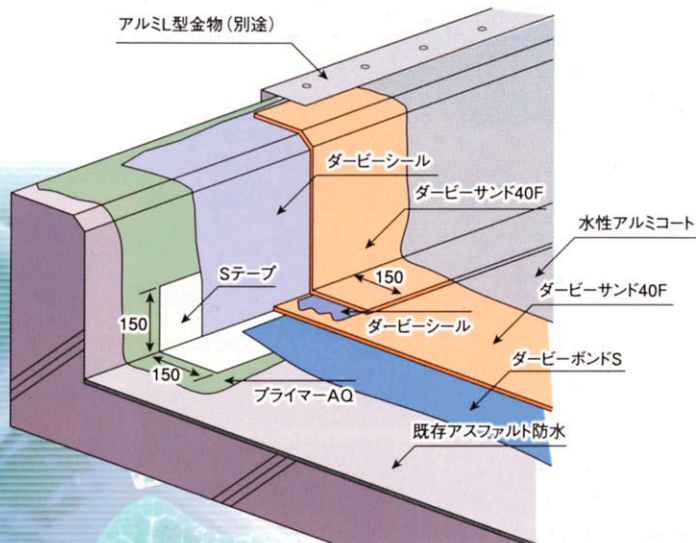


ホテル／愛知県

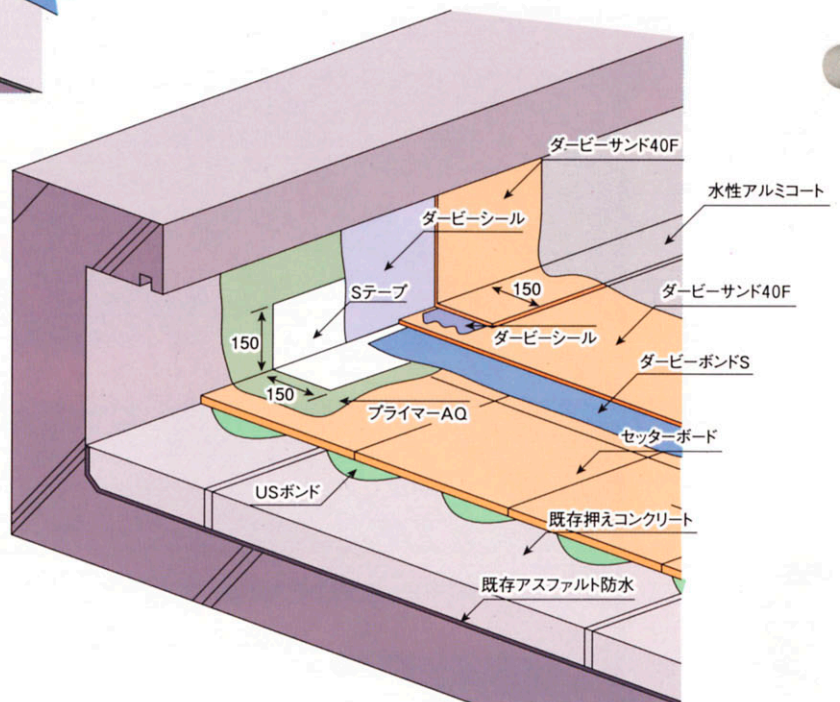
仕様

仕様記号	適用下地	部位	工程:1
DB-12	アスファルト 防水層	一般部	ダービーボンドS 0.6~1.0kg/m ²
DB-12V		立上り部	プライマー-AQ 0.2kg/m ²
DB-22	コンクリート	一般部	セッターボード3mm USボンド0.5kg/m ²
DB-22V		立上り部	プライマー-AQ 0.2kg/m ²

DB-12



DB-22



工程:2	工程:3	工程:4	工程:5
ダービーサンド40F	水性アルミコート 0.3kg/m ²	—————	—————
Sテープ 増し張り	ダービーシール 0.6~1.0kg/m ²	ダービーサンド40F	水性アルミコート 0.3kg/m ²
ダービーボンドS 0.5~0.9kg/m ²	ダービーサンド40F	水性アルミコート 0.3kg/m ²	—————
Sテープ 増し張り	ダービーシール 0.6~1.0kg/m ²	ダービーサンド40F	水性アルミコート 0.3kg/m ²

ルーフィングのジョイントラップ	短辺:150mm以上 長辺:100mm以上	ダービーシール
		0.2~0.3kg/m

※DB-22については、脱気システム併用を標準工法とします。

バリエーションズ

- 立上りのルーフィングについては、自着工法・トーチ工法への変更も可能です。
 - ☆自着工法 : DB-12V・DB-22Vでは、工程3・4に替えてカスタムサンドUFとします。
 - ★トーチ工法 : DB-12V、DB-22Vでは、工程3・4に替えてメルタンキャップ21Fとします。
- ルーフィングのジョイントラップの接着方法としては、標準工法(ダービーシール)以外にも可能です。

適用製品	ジョイントラップの接着方法
ダービーサンド40F	ダービーシール・トーチバーナーによる溶着処理

- セッターボードの施工については、標準工法(USボンド)以外に、次の工法があります。
 - ①機械固定工法
 - ②ダービーシール

- 防水保護塗料については、標準工法(水性アルミコート)以外にも可能です。

保護塗料	使用量	備 考
プレノコートAL	1.0kg/m ²	高耐用シルバートップコート
プレノカラーN	0.5kg/m ²	カラートップコート

- 軽歩行(メンテナンス通路の確保等)に対応する場合には、防水層歩行保護板(トップタイト)を設置するものとします。
- 脱気システムについては、ステンレス製脱気筒の採用を標準とします。(※50~100m²に1箇所設置とします。)

種別	製品名	備 考
脱気筒	マルエス ステンレスベント	ステンレス製

施工フロー

※DB-12の場合(適用下地:アスファルト防水層)



1 立上り部にプライマー-AQを塗布する。(既存層撤去時)



2 立上りコーナーにSテープを施行する。



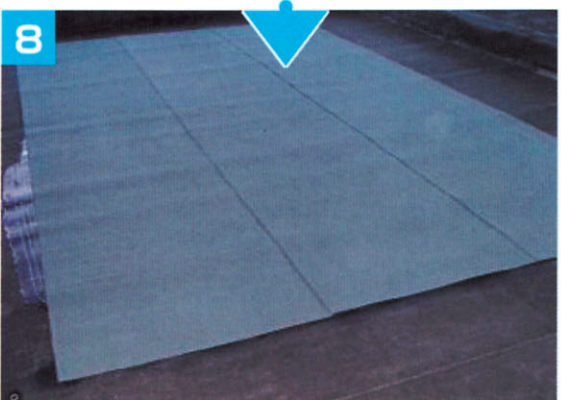
4 ダービーサンドを仮敷きする。



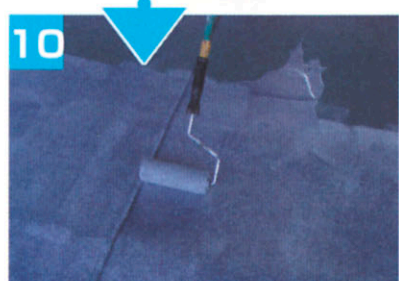
5 ダービーボンドSを塗布する。



7 ダービーサンドを施工する。



9 ダービーシールにてジョイント処理を行なう。



10 仕上げ塗料の水性アルミコートを塗布する

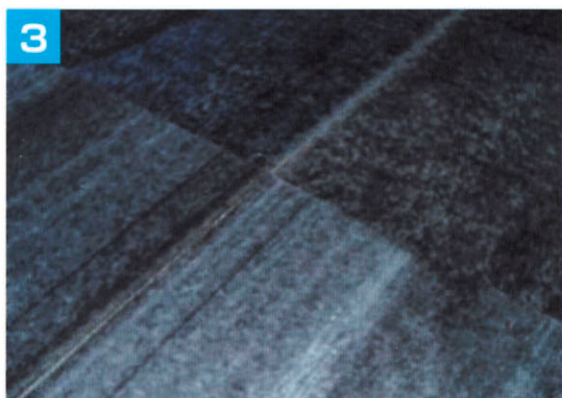
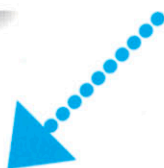
※DB-22の場合（適用下地:コンクリート）



USボンドを塗布する



セッターボードを施行する



この後の工程については、
DB-12に準ずる。

注 意 点

- 施工フローは標準工法によるものです。
- 撤去工事、不具合箇所の補修、既存伸縮目地処理、著しい不陸の是正、発生材処分、清掃作業、揚重作業、材料の保管・小運搬、後片付け等は、このフローには含みません。
- 端末金物または金属笠木、脱気筒の設置は別途料金となります。
- 立上りの既存防水層の撤去の是非は、現状調査の上、判断いたします。

標準工法

ダービーシールによる施工(ダービーサンド40F)



1.ダービーシールを塗布する



2.ダービーサンドを施工する

バリエーションズ



自着工法

カスタムサンドUF

- ルーフィングの裏面のはく離紙を剥がし、粘着層(自着層)を下地面に張り付ける。
- ジョイント部はトーチバーナーを使用する。
- 転圧ローラーを使用する。



トーチ工法

メルタンキャップ21F

- トーチバーナーを使用し、ルーフィングの裏面のアスファルトを溶かしながら、張り付ける。
- 転圧ローラーを使用する。

テクニカルデータ

【ダービーボンドS/ダービーシールの性状】

項 目		試 験 値	
		ダービーボンドS	ダービーシール
外観		黒色ペースト状	黒色ペースト状
比重		1.07	1.1
アスファルト含有量		43±2%	——
加熱残分		74±10%	——
灰分		26±5%	——
溶剤の種類	種類	ミネラルスピリット	——
	引火点	27℃	——
	含有量	27±3%	15%
粘度	20℃	17.8~33.3 Pa・s	夏用 300~400 Pa・s 冬用 70~120 Pa・s
	35℃	6.0~16.0 Pa・s	——
施工可能温度		-5℃~40℃	-5℃~40℃

【セッターボード・ダービーサンドの性状】

項 目		試 験 値	
		ダービーサンド40F	セッターボード
製品の単位面積質量		4650 g/m ²	4800 g/m ²
厚み		4.0mm	3.0mm
比重		——	1.5
引張強度	長手	182 N/cm	202 N/cm
	幅	132 N/cm	
抗張積	長手	8560 N・%・cm	890 N・%・cm
	幅	7790 N・%・cm	
破断時の伸び率	長手	46 %	4.4 %
	幅	58 %	
たわみ		——	3.0mm

【改質アスファルトルーフィングの接着強度】

被着体	接着剤	塗布量	強度	備考
既存アスファルト防水層	ダービーボンドS	0.8~1.0kg/m ²	60N/cm ²	28日後(20℃)
	ダービーシール	300g/m ²	0.6N/cm ²	5日後(20℃)

【セッターボードの接着強度】

被着体	接着剤	強度	備考
スレート板	USボンド	64.2N/cm ²	セッターボード面材 or セッターボード破壊



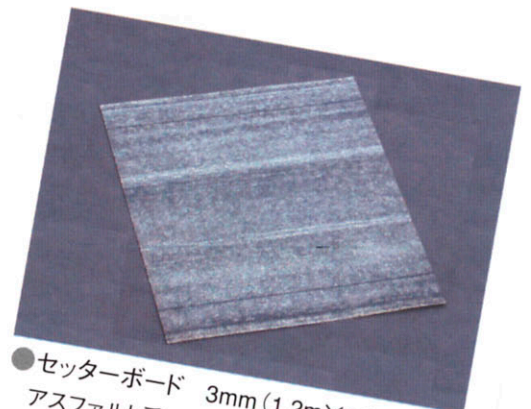
●ダービーボンドS 25kg缶
特殊常温型アスファルト塗材
ダービーサンド30F・40F張り付け用



●ダービーシール 1.5kgカートリッジ
アスファルト系不定形シール材
立上り施工およびジョイント処理用



●ダービーサンド40F 1m×8m、t=4mm
露出用改質アスファルトルーフィング
(砂付タイプ)



●セッターボード 3mm (1.2m×1.05m/枚)
アスファルト系マスチックパネル
コンクリート系下地用



●USボンド 10kg/セット



●プライマーAQ 16kg缶



●水性アルミコート 15kg缶



●ボンド専用スクイージー



●シール専用ガン

使用材料・工具一覧

材 料 名	規 格	備 考
ダービーボンドS	25kg/缶	特殊常温型アスファルト塗材
ダービーシール	1.5kg/カートリッジ	アスファルト系不定形シール材(立上り・ジョイントラップ用)
ダービーサンド40F	1mX8m、T=4mm/本	露出用改質アスファルトルーフィング
Sテープ	300mmX16m/本	コーナー増張り用テープ・自着層付
カスタムサンドUF	1.02mX8m、T=4mm/本	露出用改質アスファルトルーフィング・自着工法用
EEルーフBF	1mX8m、T=2mm/本	増張り専用改質アスファルトルーフィング・自着工法用
メルタンキャップ21F	1mX8m、T=4mm/本	露出用改質アスファルトルーフィング・トーチ工法用
SKルーフBF	1mX8m、T=2.5mm/本	増張り専用改質アスファルトルーフィング・トーチ工法用
セッターボード3mm	1.2mX1.05m、T=3mm/枚	アスファルト系マスチックパネル
USボンド	10kg/セット	セッターボード専用接着剤、2成分型(2kg+8kg)
プライマー-AQ	16kg/缶	水性アスファルトプライマー
水性アルミコート	15kg/缶	水性シルバートップコート
プレノコートAL	18kg/セット	高耐用シルバートップコート、2成分型(14.4kg+3.6kg)
プレノコートN	15kg/缶	カラートップコート(グリーン・グレー・シルバーグレー)
トップタイト	500mmX1m、T=6mm/枚	アスファルト系歩行保護板、表層・砂付仕上げ
マルエス ステンレスベント		ステンレス製脱気筒
ボンド専用スクイージー		ダービーボンドS施工用
シール専用ガン		ダービーシール施工用

維持管理

ダービー防水システムの防水性能を長期にわたって維持するために、次の維持管理をお願い致します。

- 定期的(6ヶ月程度)に屋根や防水面の清掃を行って下さい。特に排水口部分の泥や枯葉などはよく除去してください。
- 定期的(3ヶ月程度)に表面状態の点検を行ってください。異常が認められる場合は施工業者に連絡して補修して下さい。
- 保護塗料は3~5年毎に塗り替えを行って下さい。(有償になります。)

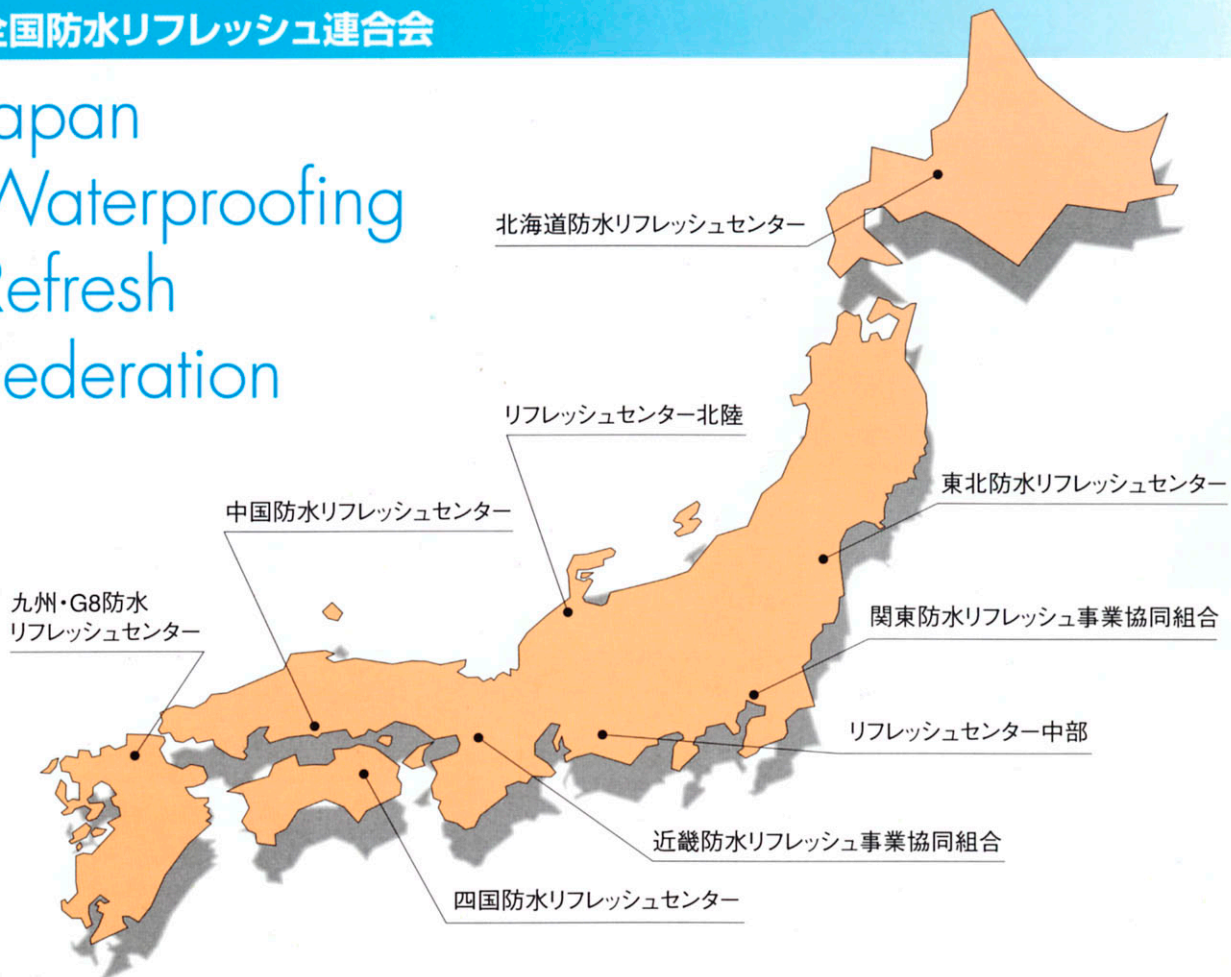
※メンテナンス(再塗装を除く)不完全の場合は保証の範囲外とさせて頂く事もあります。

注意事項

- ハイヒール、スパイクシューズなどによる歩行は防水層を破損する恐れがあります。ゴム底の履物かスリッパをご使用下さい。
- 防水層は可燃物ですから、その上では火気を使用しないでください。防水層が軟化して膨れ、剥がれを生じます。
- 防水層の上に溶剤、ガソリンなどをこぼさないで下さい。防水層が損傷します。
- 重量物を引きずったり、金属や木片等硬いものをぶつけないで下さい。防水層が破損します。
- 防水層の上で犬等の家畜を飼わないで下さい。糞尿は防水層を劣化させます。
- 防水層の清掃の際、中性洗剤以外の洗剤は使用しないで下さい。
- クーリングタワー防藻剤・殺菌剤等の種類によって防水層に損傷を与えます。注意して下さい。
- 表面が水でぬれている場合は滑りやすいのでご注意ください。

全国防水リフレッシュ連合会

Japan
Waterproofing
Refresh
Federation



事務局：〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4 日新工業(株)内
TEL.03-3882-2483 FAX/03-3881-8545

全国防水リフレッシュ連合会
Japan Waterproofing Refresh Federation

- 関東防水リフレッシュ事業協同組合 ☎03-3882-2483
- 近畿防水リフレッシュ事業協同組合 ☎06-6533-3191
- リフレッシュセンター中部 ☎052-933-4761
- 九州・G8防水リフレッシュセンター ☎092-451-1095
- 北海道防水リフレッシュセンター ☎011-281-6328
- 東北防水リフレッシュセンター ☎022-263-0315
- 中国防水リフレッシュセンター ☎082-541-5033
- 四国防水リフレッシュセンター ☎087-843-5772
- リフレッシュセンター北陸 ☎076-222-3321

当カタログの表示について●当カタログのデータは全て性能値であり保証値ではありません。●材料、仕様は予告なく変更する場合があります。



総合防水材料メーカー
日新工業株式会社

●<http://www.nisshinkogyo.co.jp>

■お客様サービス窓口：☎0120-86-2424

- | | | | |
|--------|--|----------------------|------------------|
| 営業統括 | ■〒120-0025/東京都足立区千住東2-23-4 | TEL.03-3882-2571(大代) | FAX.03-3881-8545 |
| 営業総務 | ■〒120-0005/東京都中央区日本橋久松町9-2 | TEL.03-5644-7211(代表) | FAX.03-5644-7219 |
| 関東営業所 | ■〒120-0025/東京都足立区千住東2-23-4 | TEL.03-3882-2641(代表) | FAX.03-3882-4173 |
| 東関東出張所 | ■〒120-0025/東京都足立区千住東2-23-4 | TEL.03-3882-2649(代表) | FAX.03-3882-4173 |
| 西関東出張所 | ■〒220-0023/横浜市西区平沼1-13-14(パークノヴァ横浜壱番館) | TEL.045-316-7885(代表) | FAX.045-316-7886 |
| 北関東出張所 | ■〒344-0057/春日部市南栄町16-1 | TEL.048-761-1201(代表) | FAX.048-755-6177 |
| 大阪支店 | ■〒550-0013/大阪市西区新町1-12-22 | TEL.06-6533-3191(代表) | FAX.06-6533-3195 |
| 名古屋営業所 | ■〒461-0004/名古屋市東区葵3-23-10(ファーストビルK6F) | TEL.052-933-4761(代表) | FAX.052-933-4766 |
| 九州営業所 | ■〒812-0018/福岡市博多区住吉4-3-2(博多エイトビル8F) | TEL.092-451-1095(代表) | FAX.092-451-1097 |
| 札幌営業所 | ■〒060-0063/札幌市中央区南三条西13-319(柴田ビル4F) | TEL.011-281-6328(代表) | FAX.011-281-6320 |
| 仙台営業所 | ■〒980-0803/仙台市青葉区国分町2-14-24(仙台松井ビル4F) | TEL.022-263-0315(代表) | FAX.022-263-0316 |
| 広島出張所 | ■〒730-0051/広島市中区大手町4-5-4 | TEL.082-541-5033(代表) | FAX.082-546-1702 |
| 高松出張所 | ■〒761-0113/高松市屋島西町2506-8-203 | TEL.087-843-5772(代表) | FAX.087-843-5803 |
| 金沢出張所 | ■〒920-0022/金沢市北安江1-11-7-503 | TEL.076-222-3321(代表) | FAX.076-222-3361 |
| 本社 | ■〒120-0025/東京都足立区千住東2-23-4 | TEL.03-3882-2424(大代) | FAX.03-3881-8545 |
| 工場 | ■埼玉・山形・北海道 研究所■埼玉 | | |

